

明治安田生命 防災に関するアンケート調査を実施  
**最も不安な自然災害は「地震」 9割が不安視  
「集中豪雨・土砂災害等」への不安が6割と急上昇  
避難所生活の我慢の限界は「7.65日」**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、防災の日（9月1日）を前に、防災に関するアンケート調査を実施しましたので、ご報告します。

**1. 高まる自然災害への意識**

- やっぱ一番怖い自然災害は「地震」9割の人が不安視
- 最近の集中豪雨による被害の影響か？自然災害のなかで「集中豪雨・土砂災害等」への不安が急上昇、6割を突破！
  - ・ 「集中豪雨・土砂災害等」に対する不安が、なんと、一昨年から10%も増加！
  - ・ 「将来、大地震が発生する」と考える人は93.8%！「東海」地域の意識は高く、ほぼ全員が将来の大地震を予想。

**2. 地震・自然災害に対する意識**

- 9割の人が「家族の安否」を一番心配しながら、「連絡手段」「落ち合う場所」は、8割が未決定！
  - ・ 依然、解消しない震災時の「家族への思い」と「対策」とのギャップ！
- 意外と無防備・無関心?!震災対策で「特に何もしていない」がいまだ3人に1人
  - ・ 近年震災を経験した「甲信越・北陸」「東北」地域、大地震が予想されている「東海」地域は震災への対策が進む。
  - ・ 未対策者（特に何もしていない人）はいまだ3人に1人であるものの、自然災害への意識の高まりで、昨年に比べ対策をしている人が増加。
- 水害への意識が高まる一方、「ハザードマップ」での危険地域の確認は大多数が未実施「知らない」「名前しか知らない」が8割も！
  - ・ 約8割が「知らない」「名前しか知らない」と、実際に危険な場所等を把握している人はまだまだ少ない！

**3. 避難時の行動**

- 避難所生活の我慢の限界は「平均7.65日」  
「水・食料」の準備は「3人に1人」で「3日分」しか準備せず！

**4. 「自然災害」以外での心配事**

- 経済不況等による先行き不透明感?「仕事・リストラ」と「親の世話（介護）」が急浮上
  - ・ 不安定な経済環境の影響か「仕事・リストラ」は昨年の9位から5位と大幅に上昇、「親の世話」も7位から4位へ！
  - ・ 昨年問題となった食品偽装、「食品の安全性」を不安視する回答は、昨年の4位から11位へダウン。

## 対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査地域

全国

3. 調査期間

2009年8月1日（土）～8月3日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,138人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	129	149	130	131	539
女性	129	165	158	147	599
計	258	314	288	278	1,138

## 【もくじ】

### 1. 高まる自然災害への意識

#### (1)不安に感じる災害は？ (4ページ)

やはり最も不安な自然災害は「地震」で、9割の人が不安視。

最近の水害の影響か、自然災害のうち「集中豪雨・土砂災害等」の不安が6割へ急上昇。

#### (2)近い将来の大地震発生の可能性は？ (5ページ)

「将来、大地震が発生する」と考えている人は、なんと93.8%

大地震が予想されている「東海」地域のほぼ全員が「将来、大地震が発生する」!

#### (3)地球温暖化(環境問題)が自然災害の発生に影響？ (6ページ)

地球温暖化により、「集中豪雨・土砂災害等」が増えたと思う人98.1%

一方、防止に向けた取組みをしている人は43.8%

### 2. 地震・自然災害に対する意識

#### (1)心配なことと家族との連絡手段・待ち合わせ場所 (7ページ)

9割の人が「家族の安否」を一番心配しながら、

家族との「連絡手段」「落ち合う場所」は、8割が未決定!

#### (2)震災時に家族で最も気になる人は？ (9ページ)

「子ども」「配偶者」が最優先!未婚者の「母親」に対する心配は「父親」の4倍強!

#### (3)具体的な震災対策 (10ページ)

約4割が「防災グッズ」を準備するも、約3割が「特に何もしていない」。

震災対策は「東海」が全国トップ。

#### (4)震災発生時に持って逃げたいものは？ (11ページ)

持って逃げたいもの「現金等」8割、「携帯電話」7割!

#### (5)ハザードマップの認知度 (12ページ)

水害への意識が高まる一方、「ハザードマップ」での危険地域の確認は大多数が未実施

「知らない」「名前しか知らない」が8割も!

### 3. 避難時の行動

#### (1)震災・水害時に頼りにする人 (13ページ)

災害発生!いざというときは、やっぱり「家族」と「隣近所」が頼り!

水害時は「消防機関」「自衛隊」への依存度が高い!

#### (2)近所との助け合いとコミュニケーション (14ページ)

いざという時、近所の人を頼りたいが、近所付き合いはほとんどなし??

一人世帯は9割が近所の人を知らず、こんな希薄な関係で助けてもらえますか?

#### (3)いざというときの備え「防災グッズ」は何を準備？ (15ページ)

防災グッズ御三家は「懐中電灯」「食料」「水」

しかしながら、準備しているのは、「3人に1人」!

#### (4)避難所生活。耐えられるのは何日？ (16ページ)

避難所生活は「7.65日」が我慢の限界!

「水・食料」は「3日分」しか準備せず!

#### (5)避難生活で我慢できないことは？ (17ページ)

第1位は「トイレの数や衛生面で十分でない」が61.0%

女性は、「食料・水」より「プライバシー」

### 4. 「自然災害」以外に不安なこと (18ページ)

経済不況等による先行き不透明感?「仕事・リストラ」と「親の世話(介護)」が急浮上

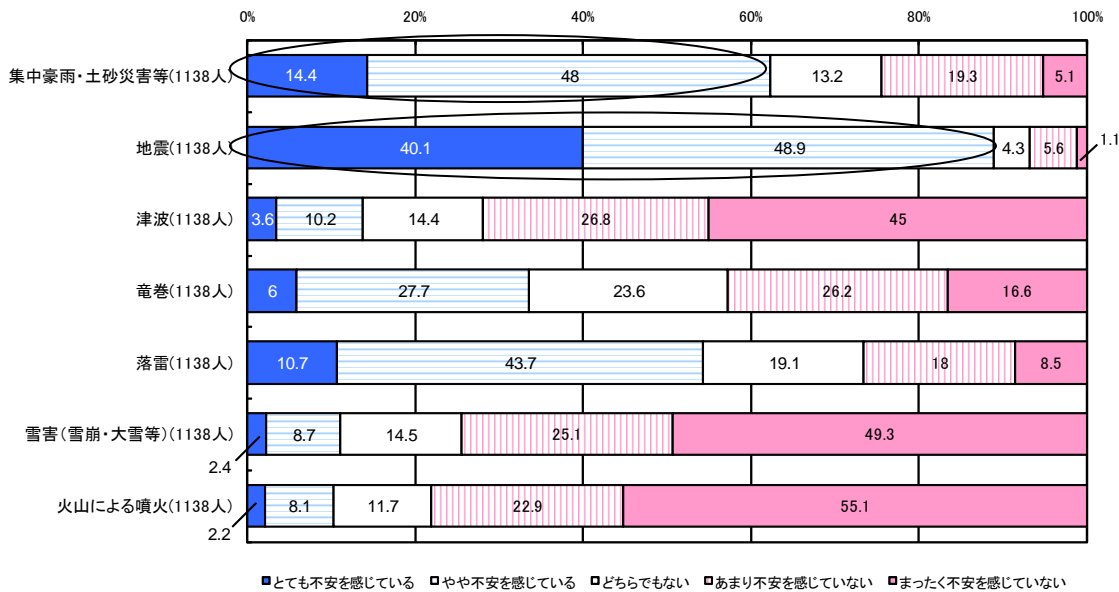
# 1. 高まる自然災害への意識

## (1) 不安に感じる災害は？

**やはり最も不安な自然災害は「地震」で、9割の人が不安視。  
最近の水害の影響か、自然災害のうち「集中豪雨・土砂災害等」の不安が6割へ急上昇。**

- ・ 不安に感じる自然災害について聞いてみました。
- ・ 最も不安に感じる災害は、やはり「地震」。「とても不安」「やや不安」を合わせ89.0%の人が不安に感じ、年々増加傾向です。
- ・ 地震に次いで、6割の人が「集中豪雨・土砂災害等」をあげています（「とても不安」+「やや不安」62.4%）。一昨年前の調査（51.9%）から10.5%も増加しており、近年のゲリラ豪雨等の水害が多発していることが影響しているのかもしれませんが。
- ・ 「地震」は、近年震災のあった地域の「甲信越・北陸」、大地震が予想されている「東海」、その他「近畿」「四国」地域の9割以上の人が不安に感じています。
- ・ 「集中豪雨・土砂災害等」は、「甲信越・北陸」「中国」「九州・沖縄」地域が7割以上の方が不安を感じており、水害への不安が高まっています。特に、最近の豪雨による水害の影響か、「とても不安」が、「中国」地域で、昨年に比べ11%以上上昇しています。

## Q. 不安に感じている自然災害は何ですか。（複数回答）



## Q. 不安に感じている自然災害は何ですか：地域別

地震					集中豪雨・土砂災害等				
順位	不安計	09年	とても不安	%	順位	不安計	08年	とても不安	%
1	甲信越・北陸	89.4	東北	51.5	1	甲信越・北陸	74.4	中国	25.3
2	東海	84.2	近畿	45.0	2	中国	70.9	東海	22.5
3	近畿	91.1	関東	42.3	3	九州・沖縄	70.9	甲信越・北陸	18.6
4	四国	90.9	甲信越・北陸	39.5	4	東海	68.3	中国	14.7
5	関東	89.4	九州・沖縄	39.2	5	関東	60.9	近畿	13.6
6	九州・沖縄	86.8	四国	35.5	6	近畿	59.8	関東	12.3
7	東北	83.3	甲信越・北陸	34.5	7	北海道	57.7	東北	12.1
8	中国	81.8	中国	26.5	8	四国	54.8	北海道	9.7
9	北海道	75.0	北海道	23.1	9	北海道	54.5	関東	9.6

※「不安計」：「とても不安を感じている」と「やや不安を感じている」の合計

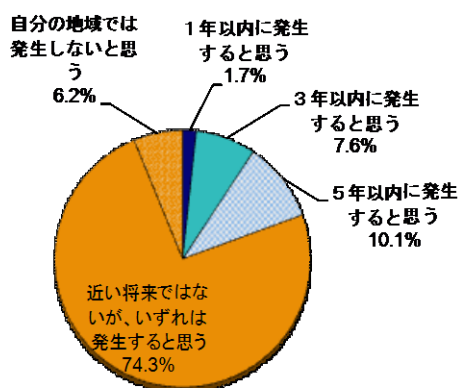
# 1. 高まる自然災害への意識

## (2) 近い将来の大地震の発生の可能性は？

「将来、大地震が発生する」と考えている人は、なんと93.8%  
大地震が予想されている「東海」地域のほぼ全員が「将来、大地震が発生する」!

- ・ やはり一番不安な自然災害は「地震」。そこで近い将来の大地震発生の可能性について、どのように考えているか聞いてみました。
- ・ 最近頻繁に各地で地震が発生しているからでしょうか、93.8%の人が「将来、大地震が発生する」と考えています。さらに、「将来、大地震が発生する」と考えている人の約2割(19.4%)が「5年以内に大地震が発生する」と、喫緊の不安と考えています。
- ・ 居住地域別でみると、「東海」地域で、「将来、大地震が発生する」と考えている人が98.3%と回答。東海地震が想定されている地域のため、意識の高さが伺えます。
- ・ 一方、「北海道」(19.2%)、「中国」(18.2%)、「九州・沖縄」(13.2%)地域では、「自分の地域では大地震は発生しない」と考えている人が多くなっています。

### Q. 近い将来に大地震が発生すると思いますか。



	回答者数	発生すると思う計(1年以内~いずれは発生)				近い将来ではないが、いずれは発生すると思う	自分の地域では発生しないと思う		
		(%)	5年以内に発生すると思う計 (%)	1年以内に発生すると思う (%)	3年以内に発生すると思う (%)			5年以内に発生すると思う (%)	
2009年 全体	1138人	93.8	19.4	1.7	7.6	10.1	74.3	6.2	
【性×年代別】	男性計	539人	94.2	20.6	1.9	8.2	10.6	73.7	5.8
	20代	129人	87.6	27.1	1.6	11.6	14.0	60.5	12.4
	30代	149人	96.6	20.8	2.0	10.7	8.1	75.8	3.4
	40代	130人	94.6	17.7	2.3	4.6	10.8	76.9	5.4
	50代	131人	97.7	16.8	1.5	5.3	9.9	80.9	2.3
	女性計	599人	93.3	18.4	1.5	7.2	9.7	75.0	6.7
	20代	129人	94.6	23.3	2.3	10.1	10.9	71.3	5.4
	30代	165人	93.3	15.2	1.8	4.2	9.1	78.2	6.7
	40代	158人	93.0	20.9	0.6	9.5	10.8	72.2	7.0
50代	147人	92.5	15.0	1.4	5.4	8.2	77.6	7.5	
【居住地】	北海道	52人	80.8	5.8	-	1.9	3.8	75.0	19.2
	東北	66人	92.4	36.4	6.1	10.6	19.7	56.1	7.6
	関東	489人	95.9	21.3	1.6	9.8	9.8	74.6	4.1
	甲信越・北陸	43人	95.3	9.3	4.7	-	4.7	86.0	4.7
	東海	120人	98.3	35.0	2.5	11.7	20.8	63.3	1.7
	近畿	214人	94.9	10.3	-	5.1	5.1	84.6	5.1
	中国	55人	81.8	9.1	-	1.8	7.3	72.7	18.2
	四国	31人	93.5	25.8	-	9.7	16.1	67.7	6.5
九州・沖縄	68人	86.8	13.2	2.9	2.9	7.4	73.5	13.2	

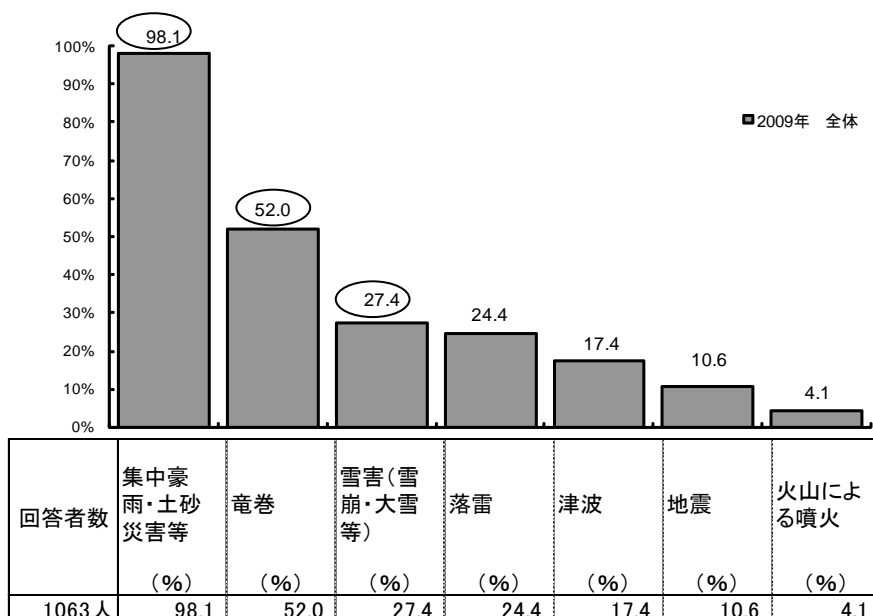
## 1. 高まる自然災害への意識

### (3) 地球温暖化（環境問題）が自然災害の発生に影響？

地球温暖化により「集中豪雨・土砂災害等」が増えたと思う人は98.1%  
一方、防止に向けた取組みをしている人は43.8%

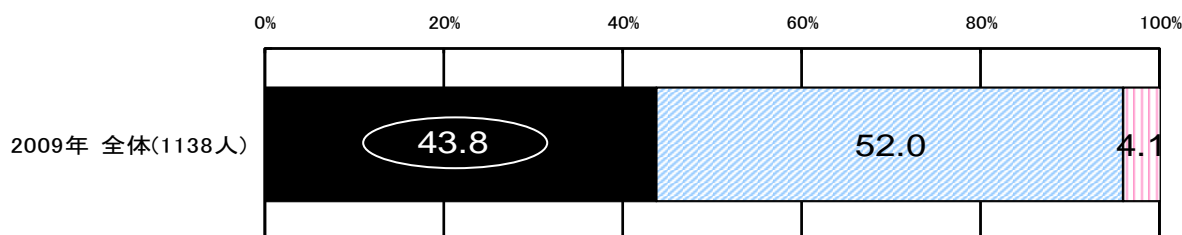
- ・ 地球温暖化と因果関係が強く、今後、増加が懸念される自然災害として、98.1%の人が「集中豪雨・土砂災害等」とあげており、昨年より12.0%も増加しています。
- ・ 続いて、「竜巻」(52.0%)、「雪害」(27.4%)と回答しています。
- ・ 地球温暖化の影響が自然災害の発生要因と考えている一方、地球温暖化防止に向けた取組みをしている人は、約4割(43.8%)にとどまっています。
- ・ 将来の地球を守るため、今を生きる我々で何かできることを取り組む必要があるのではないのでしょうか。

### Q. 地球温暖化により、どんな災害が増えると思いますか。(複数回答)



※地球温暖化が自然災害の原因となっていると考えている人ベース

### Q. 地球温暖化防止に向けた取組みを行なっていますか？



■ 関心があり、常に取り組んでいる □ 関心はあるが、取り組んでいない □ 取り組んでいない

## 2. 地震・自然災害に対する意識

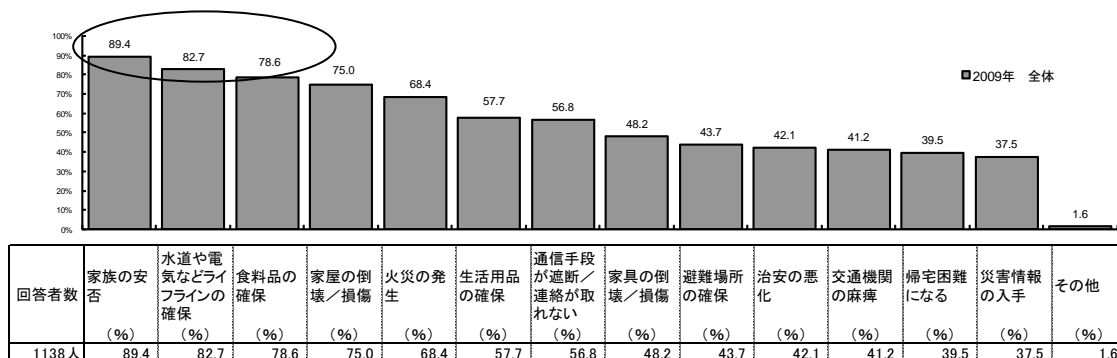
### (1) 心配なことと家族との連絡手段・待ち合わせ場所

9割の人が「家族の安否」を一番心配しながら、  
家族との「連絡手段」「落ち合う場所」は、8割が未決定！

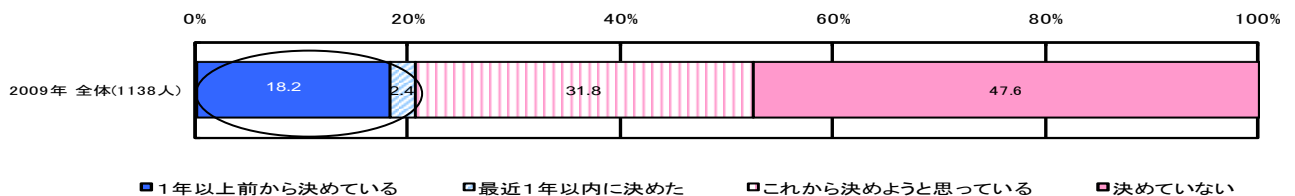
- ・ 大地震が発生した場合、みなさんは一番何を心配しますか？
- ・ 結果は、第1位が「家族の安否」（89.4%）と、家族を心配する「家族思い」の姿が明らかになりました。
- ・ 続いて、生活に欠かせない「水道や電気などのライフラインの確保」（82.7%）、「食料品の確保」（78.6%）となっています。
- ・ 多くの人が「家族の安否」を一番心配していることから、大地震発生時の家族との「連絡手段」「落ち合う場所」について聞いてみました。
- ・ なんと！「家族との連絡手段」「家族と落ち合う場所」を既に決めている人は、約2割で約8割の人が未決定（「決めていない」＋「これから決める」）という結果になっています。残念ながら、昨年同様、このギャップは改善していない結果となりました。

（※2008年度調査「連絡手段」未決定：82.0%、「落ち合う場所」：同81.8%）。

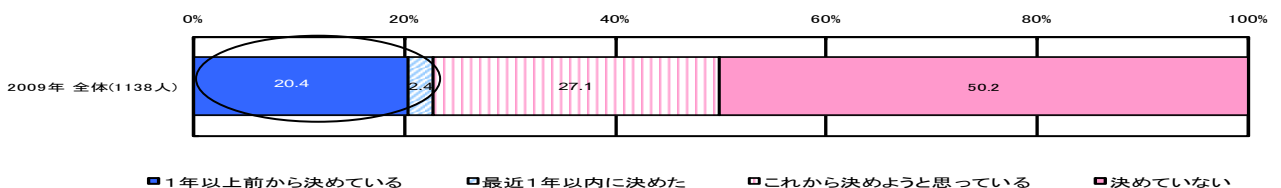
#### Q. 震災時に心配なことは何ですか（複数回答）



#### Q. 震災時、家族との連絡手段を決めていますか。



#### Q. 震災時、家族と落ち合う場所を決めていますか。



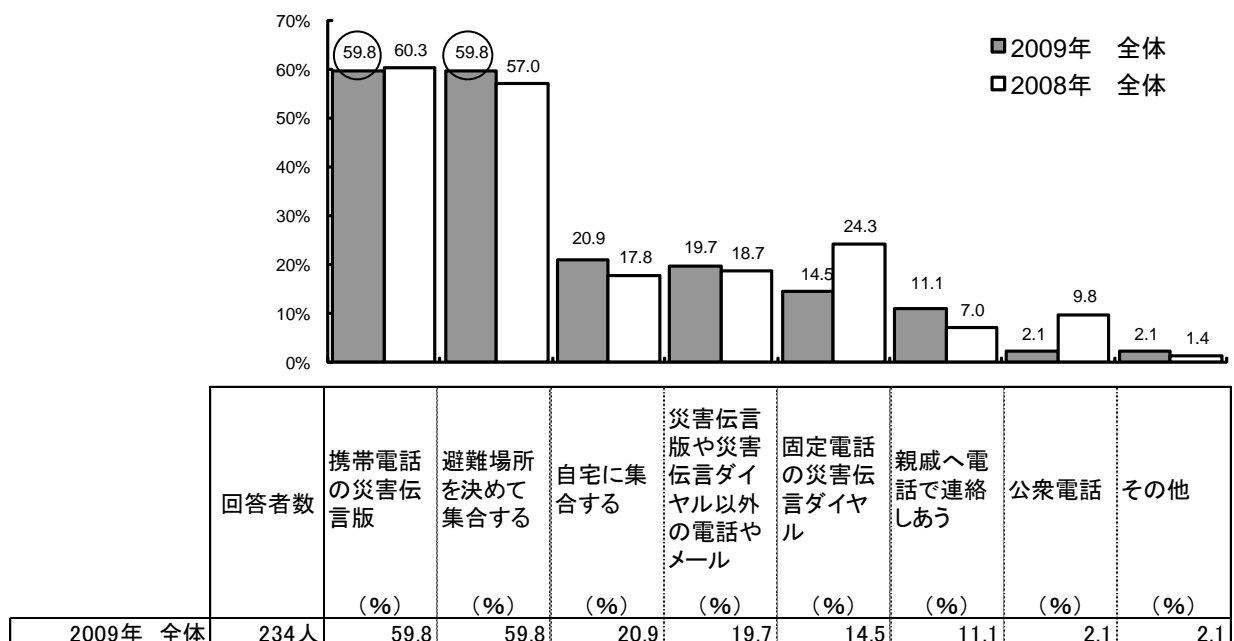
- ・ 居住地別でみると、「落ち合う場所」を決めている人は、「東海」「関東」が高くなっています。やはり、大地震が予想されている「東海」地域では対策が進んでいるようです。
- ・ 家族との「連絡手段」を決めている人に、具体的な「連絡手段」を聞いたところ、第1位は「携帯電話の災害伝言板」と「避難場所を決めて集合する」（59.8%）でした。

**Q. 家族が落ち合う場所を決めていますか：地域別**

	回答者数	決めている計	1年以上前から決めている	最近1年以内に決めた	これから決めようと思っている	決めていない
		(%)	(%)	(%)		
2009年 全体	1138人	22.8	20.4	2.4	27.1	50.2
【居住地】北海道	52人	15.4	13.5	1.9	30.8	53.8
東北	66人	13.6	12.1	1.5	34.8	51.5
関東	489人	26.8	24.3	2.5	25.8	47.4
甲信越・北陸	43人	20.9	20.9	-	27.9	51.2
東海	120人	36.7	31.7	5.0	27.5	35.8
近畿	214人	19.2	17.3	1.9	25.2	55.6
中国	55人	12.7	10.9	1.8	36.4	50.9
四国	31人	12.9	9.7	3.2	25.8	61.3
九州・沖縄	68人	8.8	7.4	1.5	23.5	67.6

**Q. <家族との連絡手段を決めている人>**

あなたが決めている具体的な連絡手段は？（複数回答）





## 2. 地震・自然災害に対する意識

### (2) 震災時に家族で最も気になる人は？

「子ども」「配偶者」が最優先！未婚者の「母親」に対する心配は「父親」の4倍強！

- ・ 震災時に家族で最も心配になる人を聞いてみました。
- ・ 全体では、第1位が「子ども」(50.6%)、続いて配偶者(22.3%)、母親(19.9%)、父親(4.7%)の回答でした。
- ・ 「未婚」の人は、「母親」(72.8%)が高く、「父親」(17.6%)の4倍強の回答。
- ・ 「既婚子供なし」の人は、「配偶者」(96.1%)と圧倒的に高いことがわかりました。「既婚子供あり」の人は、第1位は「子ども」(76.2%)、続いて「配偶者」(22.6%)、「母親」(1.0%)、「父親」(0.1%)の結果でした。
- ・ これらのことから、「母親」「子ども」に対する愛情の深さが反映しています。
- ・ 大切な家族の安否を確認するためにも、落ち合う場所や緊急時の連絡手段を決めないといけませんね。体力があるかもしれませんが、お父さんはちょっと可哀そうですね。

### Q. 震災時に家族のうち最も気になる人は？

		回答者数	配偶者 (%)	子ども (%)	父親 (%)	母親 (%)	兄弟姉妹 (%)
震災時に家族の安否確認をする人		1007人	22.3	50.6	4.7	19.9	2.5
【性×年代別】	男性計	465人	27.5	42.6	5.6	21.1	3.2
	20代	104人	7.7	7.7	15.4	57.7	11.5
	30代	112人	19.6	44.6	8.9	24.1	2.7
	40代	121人	35.5	58.7	-	5.8	-
	50代	128人	43.0	53.9	-	3.1	-
	女性計	542人	17.9	57.6	3.9	18.8	1.8
	20代	118人	10.2	21.2	10.2	52.5	5.9
	30代	142人	14.1	60.6	2.8	20.4	2.1
	40代	151人	13.2	80.1	2.0	4.6	-
	50代	131人	34.4	61.1	1.5	3.1	-
【未既婚× 子供の有無】	未婚計	261人	-	-	17.6	72.8	9.6
	男性未婚者	135人	-	-	19.3	69.6	11.1
	女性未婚者	126人	-	-	15.9	76.2	7.9
	既婚計	746人	30.2	68.4	0.1	1.3	-
	既婚子供なし計	77人	96.1	-	-	3.9	-
	子供なし男性	43人	97.7	-	-	2.3	-
	子供なし女性	34人	94.1	-	-	5.9	-
	既婚子供あり計	669人	22.6	76.2	0.1	1.0	-
	子供あり男性	287人	30.0	69.0	-	1.0	-
	子供あり女性	382人	17.0	81.7	0.3	1.0	-

※震災時に心配なことは家族の安否と考えている人ベース

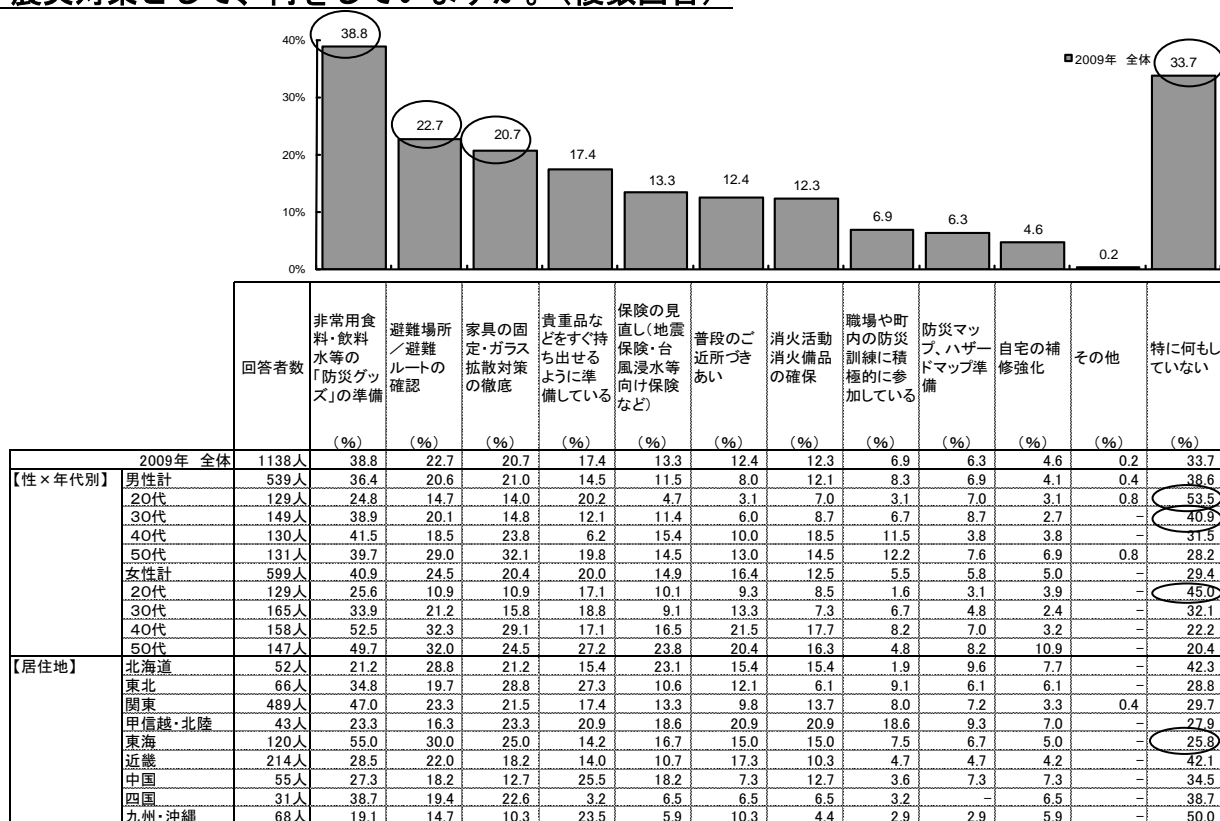
## 2. 地震・自然災害に対する意識

### (3) 具体的な震災対策

約4割が「防災グッズ」を準備するも、約3割が「特に何もしていない」。  
震災対策は「東海」が全国トップ。

- ・ いつ起こるかわからない大震災！そこで、震災対策の準備状況について聞いてみました。
- ・ 震災対策の第1位は、「防災グッズの準備」(38.8%)、続いて「避難場所・ルートの確認」(22.7%)、「家具の固定・ガラス拡散対策の徹底」(20.7%)となっています。
- ・ 一方、「特に何もしていない」が33.7%となっています。震災を不安と思いつつ、意外と無防備な人が多いようです。
- ・ ただし、最近の震災・水害の影響からか、「特に何もしていない」という未対策者が、昨年に比べ大きく改善しています。(08年度：48.7%→今回：33.7%)
- ・ 「特に何もしていない」の年齢別第一位は20代男性(53.5%)で、続いて20代女性(45.0%)、30代男性(40.9%)と、20代・30代の未対策者が目立ちます。若年層は無防備で、楽観主義なのでしょうか？
- ・ 地域別では、大地震が予想されている「東海」地域の未対策者は25.8%で最も低く、全国でも震災対策が進んでいます。

#### Q. 震災対策として、何をしていますか。(複数回答)



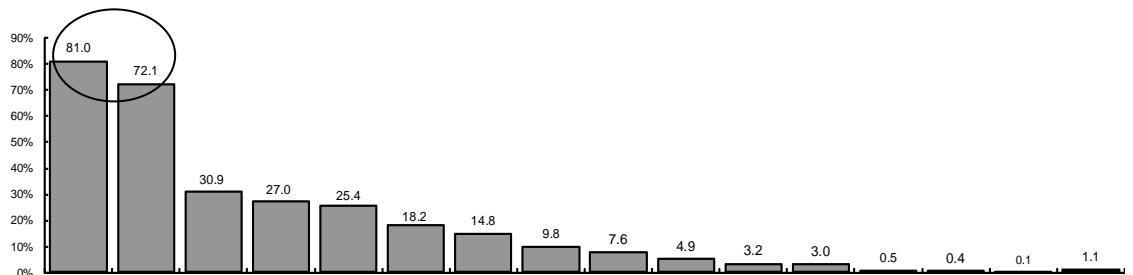
## 2. 地震・自然災害に対する意識

### (4) 震災発生時に持って逃げたいものは？

持って逃げたいもの「現金等」8割、「携帯電話」7割！

- ・ 地震が発生したとき、大切なものを安全なところに運び出そうというのは自然な行動です。そこで、地震発生時に「持って逃げたいもの」について聞いてみました。
- ・ やはり、先立つものは「お金」。「水・食料」よりも、第1位は「現金・預金通帳・印鑑・カード」(81.0%)で、続いて、「携帯電話」(72.1%)となっています。
- ・ 少数意見ですが、「ペット」は、「女性」(13.2%)の方が「男性」(5.9%)より高く、また、「50代女性」(16.3%)、「40代女性」(13.9%)、「30代女性」(12.1%)の順で、特に子供のいない既婚女性(18.4%)は、全体の2倍弱。「家族同然」に大切にしていることから、真っ先に助けたいという気持ちの表れではないでしょうか。

### Q. 震災発生時に持って逃げたいものは何ですか(複数回答)



	回答者数	現金／預金通帳／印鑑／カード (%)	携帯電話 (%)	水 (%)	食料 (%)	健康保険証 (%)	ラジオ (%)	身分証明書 (%)	ペット (%)	懐中電灯／ろうそく (%)	アルバム(家族の写真) (%)	貴金属 (%)	保険証券 (%)	骨董品 (%)	位牌 (%)	日記 (%)	その他 (%)	
2009年 全体	1138人	81.0	72.1	30.9	27.0	25.4	18.2	14.8	9.8	7.6	4.9	3.2	3.0	0.5	0.4	0.1	1.1	
【性×年代別】																		
男性計	539人	81.4	70.3	30.4	26.7	23.0	21.3	19.9	5.9	7.6	4.6	3.7	2.6	0.7	0.6	-	1.1	
20代	129人	84.5	76.7	30.2	24.0	24.0	10.1	28.7	3.9	4.7	3.1	6.2	2.3	0.8	-	-	0.8	
30代	149人	87.2	70.5	30.9	30.2	20.1	17.4	22.1	3.4	8.7	4.7	1.3	1.3	1.3	-	-	0.7	
40代	130人	76.9	64.6	31.5	30.8	26.9	20.0	16.9	9.2	5.4	4.6	4.6	3.8	0.8	1.5	-	2.3	
50代	131人	76.3	69.5	29.0	21.4	21.4	38.2	11.5	7.6	11.5	6.1	3.1	3.1	-	-	-	0.8	
女性計	599人	80.6	73.6	31.4	27.2	27.5	15.4	10.2	13.2	7.7	5.2	2.7	3.3	0.3	0.3	0.2	1.2	
20代	129人	82.9	76.0	30.2	30.2	29.5	10.1	15.5	10.1	3.9	5.4	3.9	-	-	-	-	0.8	
30代	165人	78.8	76.4	35.2	29.1	21.2	18.8	8.5	12.1	7.3	4.8	3.0	2.4	0.6	0.6	-	1.2	
40代	158人	80.4	70.9	28.5	31.0	28.5	15.8	7.6	13.9	5.7	7.6	2.5	5.7	-	-	-	1.3	
50代	147人	81.0	71.4	31.3	18.4	32.0	15.6	10.2	16.3	13.6	2.7	1.4	4.8	0.7	-	-	0.7	
【未婚×子供の有無】																		
未婚計	376人	84.3	77.1	31.4	26.1	21.0	13.0	21.8	8.5	6.9	2.9	4.5	0.5	0.3	0.3	0.3	1.1	
男性未婚者	205人	87.8	74.6	32.7	25.4	21.0	12.2	27.3	4.4	5.4	2.4	4.4	0.5	0.5	-	-	1.5	
女性未婚者	171人	80.1	80.1	29.8	26.9	21.1	14.0	15.2	13.5	8.8	3.5	4.7	0.6	-	-	-	0.6	
既婚計	762人	79.4	69.6	30.7	27.4	27.6	20.7	11.3	10.4	8.0	5.9	2.5	4.2	0.7	0.5	-	1.2	
既婚子供なし計	83人	79.5	62.7	32.5	32.5	21.7	18.1	13.3	13.3	8.4	6.0	7.2	3.6	1.2	-	-	-	
子供なし男性	45人	75.6	60.0	40.0	40.0	17.8	20.0	11.1	8.9	8.9	2.2	6.7	6.7	2.2	-	-	-	
子供なし女性	38人	84.2	65.8	23.7	23.7	26.3	15.8	15.8	18.4	7.9	10.5	7.9	-	-	-	-	-	
既婚子供あり計	679人	79.4	70.4	30.5	26.8	28.3	21.1	11.0	10.0	8.0	5.9	1.9	4.3	0.6	0.6	-	1.3	
子供あり男性	289人	77.9	68.9	27.3	25.6	25.3	28.0	15.9	6.6	9.0	6.6	2.8	3.5	0.7	1.0	-	1.0	
子供あり女性	390人	80.5	71.5	32.8	27.7	30.5	15.9	7.4	12.6	7.2	5.4	1.3	4.9	0.5	0.3	-	1.5	
【居住地】																		
北海道	52人	71.2	69.2	30.8	32.7	36.5	21.2	3.8	19.2	5.8	7.7	-	1.9	-	-	-	-	
東北	66人	72.7	78.8	24.2	25.8	28.8	18.2	16.7	7.6	9.1	3.0	9.1	4.5	-	-	-	1.5	
関東	489人	79.3	71.8	33.5	28.0	23.7	18.8	17.2	9.0	8.2	2.9	2.5	2.7	0.6	0.6	0.2	1.0	
甲信越・北陸	43人	81.4	76.7	25.6	23.3	23.3	18.6	16.3	14.0	9.3	7.0	2.3	2.3	-	-	-	-	
東海	120人	84.2	70.9	30.0	28.3	25.0	17.5	5.8	11.7	5.8	10.0	5.8	2.5	0.8	-	-	1.7	
近畿	214人	86.4	69.2	30.8	24.8	27.1	16.8	18.2	7.9	6.1	3.7	2.3	4.7	-	-	-	1.9	
中国	55人	87.3	72.7	32.7	16.4	30.9	16.4	7.3	7.3	3.6	10.9	5.5	3.6	1.8	1.8	-	1.8	
四国	31人	80.6	71.0	22.6	32.3	22.6	16.1	12.9	16.1	3.2	-	-	-	-	-	-	-	
九州・沖縄	68人	80.9	77.9	26.5	29.4	19.1	16.2	13.2	10.3	10.3	8.8	2.9	1.5	1.5	1.5	-	-	

## 2. 地震・自然災害に対する意識

### (5) ハザードマップの認知度

水害への意識が高まる一方、「ハザードマップ」での危険地域の確認は大多数が未実施  
「知らない」「名前しか知らない」が8割も！

- ・ 自然災害への不安は増加していますが、「ハザードマップで危険地域や避難経路を確認した」人は21.2%、ハザードマップを見たことがないと回答した人が78.8%でした（「名前しか知らない人」（47.7%）＋「ハザードマップを知らない人」（31.1%））。
- ・ いざという時に極力被害にあわないためにも、事前に自宅周辺の危険地域・避難経路を確認しておいたらいがかでしょうか。
- ・ 地域別では、「甲信越・北陸」が、ハザードマップで「危険地域や避難経路を確認した」人が34.9%と最も高く、「九州・沖縄」が10.3%で最も低い結果となっています。

#### Q. ハザードマップを知っていますか。

		回答者数	危険地域 や避難経 路を確認 した (%)	名前しか 知らない (%)	ハザード マップを 知らない (%)
2009年 全体		1138人	21.2	47.7	31.1
【居住地】	北海道	52人	23.1	50	26.9
	東北	66人	19.7	51.5	28.8
	関東	489人	20.4	51.7	27.8
	甲信越・北陸	43人	34.9	41.9	23.3
	東海	120人	26.7	47.5	25.8
	近畿	214人	22	42.1	36
	中国	55人	14.5	43.6	41.8
	四国	31人	22.6	38.7	38.7
	九州・沖縄	68人	10.3	42.6	47.1

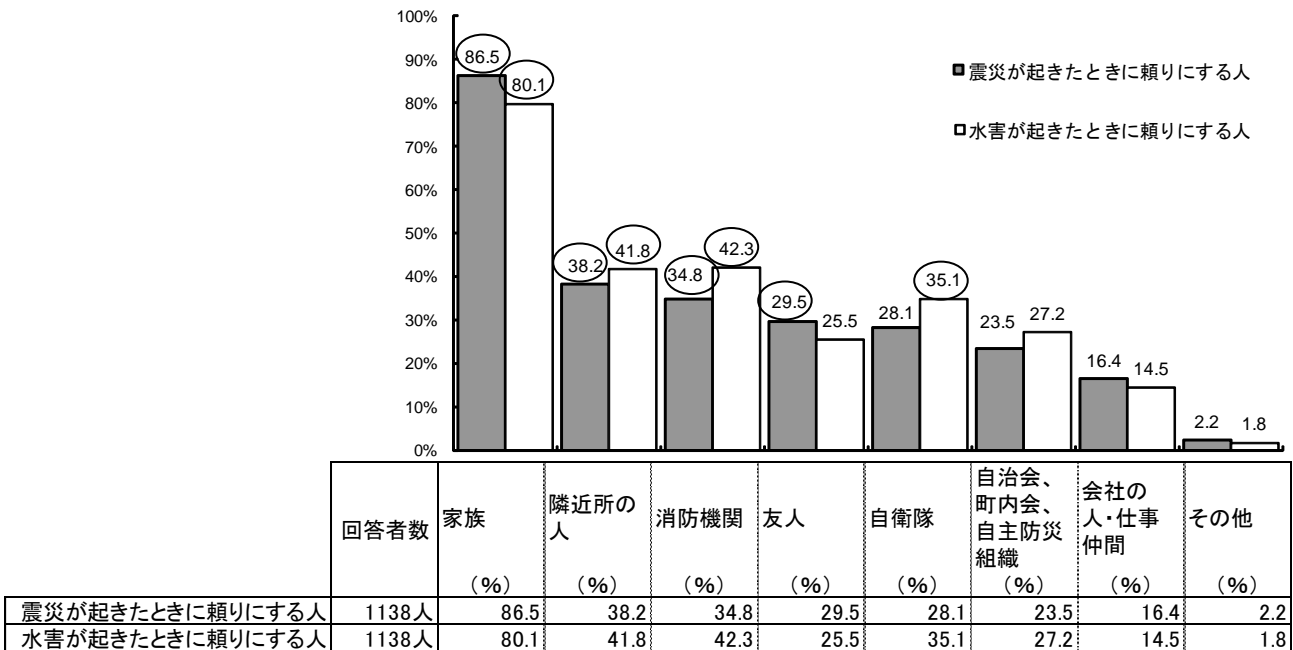
### 3. 避難時の行動

#### (1) 震災・水害時に頼りにする人

災害発生！ いざというときは、やっぱり「家族」と「隣近所」が頼り！  
水害時は「消防機関」「自衛隊」への依存度が高い！

- ・ 災害時に一番誰を頼りにするのかを聞いてみました。
- ・ まず、震災時では、第1位は「家族」（86.5%）で、続いて「隣近所の人」（38.2%）、「消防機関」（34.8%）、「友人」（29.5%）という回答でした。
- ・ 次に、水害時では、第1位はやはり「家族」（80.1%）、続いて「消防機関」（42.3%）、「隣近所」（41.8%）、「自衛隊」（35.1%）となっています。
- ・ 地震でも水害でも、頼りにするのは一番身近な「家族」であることがわかりましたが、水害時には、「消防機関」「自衛隊」への依存度が高くなっています。水害時の救助方法に専門性が求められるからでしょうか？

#### Q. 震災・水害時、頼りにする人は誰ですか。（複数回答）



### 3. 避難時の行動

#### (2) 近所との助け合いとコミュニケーション

いざという時、近所の人を頼りたいが、近所付き合いはほとんどなし??  
一人世帯は9割が近所の人を知らず、こんな希薄な関係で助けてもらえますか?

- ・ 震災時も水害時も、「隣近所の人」の回答が上位3位以内に入っていましたが、皆さんはご近所付き合いはどの程度できているのでしょうか?
- ・ 命にかかわる緊急事態での助け合いは、日頃のご近所付き合いが重要だと思われます。全体では、「遠慮なしに日常行き来している」と回答した人は7.9%で1割未満、「留守をする時に声を掛け合う等のお付き合いがある人」(12.6%)と合わせて2割の水準。
- ・ あまり付き合いのないと思われる(「顔があえば挨拶くらいはする」+「ほとんど付き合いがない」)は、全体で49.0%。世帯人数別では、「一人世帯」は86.2%とほとんどお付き合いがなく、「二人世帯」(59.8%)、「三人世帯」(40.0%)と世帯人数が増えるにつれ、近所付き合いが深まっています。
- ・ また、「20代男性」(76.8%)、「30代男性」(64.4%)と近所とのコミュニケーション不足が目立っています。

#### Q. ご近所との付き合いはどのくらいありますか。

		回答者数	遠慮なしに日常行き来している (%)	留守をするときに声をかけあう等のおつきあいがある (%)	たまに立ち話ぐらいいはする (%)	顔があえば挨拶ぐらいいはする (%)	ほとんどつきあいない (%)
2009年 全体		1138人	7.9	12.6	30.6	38.8	10.2
【性×年代別】	男性計	539人	5.9	10.9	26.7	45.6	10.8
	20代	129人	5.4	3.1	14.7	62.8	14.0
	30代	149人	7.4	8.1	20.1	45.6	18.8
	40代	130人	1.5	16.9	39.2	34.6	7.7
	50代	131人	9.2	16.0	33.6	39.7	1.5
	女性計	599人	9.7	14.0	34.1	32.6	9.7
	20代	129人	5.4	9.3	22.5	41.1	21.7
	30代	165人	13.3	5.5	32.1	35.8	13.3
	40代	158人	9.5	20.3	41.1	25.9	3.2
	50代	147人	9.5	21.1	38.8	28.6	2.0
【未既婚×子供の有無】	未婚計	376人	5.9	4.0	12.2	54.0	23.9
	男性未婚者	205人	4.9	2.4	13.2	58.0	21.5
	女性未婚者	171人	7.0	5.8	11.1	49.1	26.9
	既婚計	762人	8.9	16.8	39.6	31.2	3.4
	既婚子供なし計	83人	2.4	9.6	26.5	43.4	18.1
	子供なし男性	45人	-	6.7	35.6	37.8	20.0
	子供なし女性	38人	5.3	13.2	15.8	50.0	15.8
	既婚子供あり計	679人	9.7	17.7	41.2	29.7	1.6
子供あり男性	289人	7.6	17.6	34.9	38.1	1.7	
子供あり女性	390人	11.3	17.7	45.9	23.6	1.5	
【居住地】	北海道	52人	7.7	15.4	32.7	40.4	3.8
	東北	66人	9.1	9.1	27.3	45.5	9.1
	関東	489人	4.7	12.5	27.6	41.9	13.3
	甲信越・北陸	43人	14.0	7.0	27.9	46.5	4.7
	東海	120人	10.0	15.0	39.2	32.5	3.3
	近畿	214人	12.6	12.1	29.4	35.5	10.3
	中国	55人	5.5	16.4	38.2	34.5	5.5
	四国	31人	9.7	12.9	32.3	32.3	12.9
	九州・沖縄	68人	8.8	11.8	36.8	30.9	11.8
	【世帯人数】	1人	196人	4.6	1.0	8.2	49.0
2人		157人	3.8	11.5	24.8	45.2	14.6
3人		305人	8.9	12.1	39.0	36.4	3.6
4人		275人	9.1	16.0	37.5	35.6	1.8
5人		145人	10.3	22.8	34.5	31.0	1.4
6人以上		60人	13.3	15.0	35.0	33.3	3.3

### 3. 避難時の行動

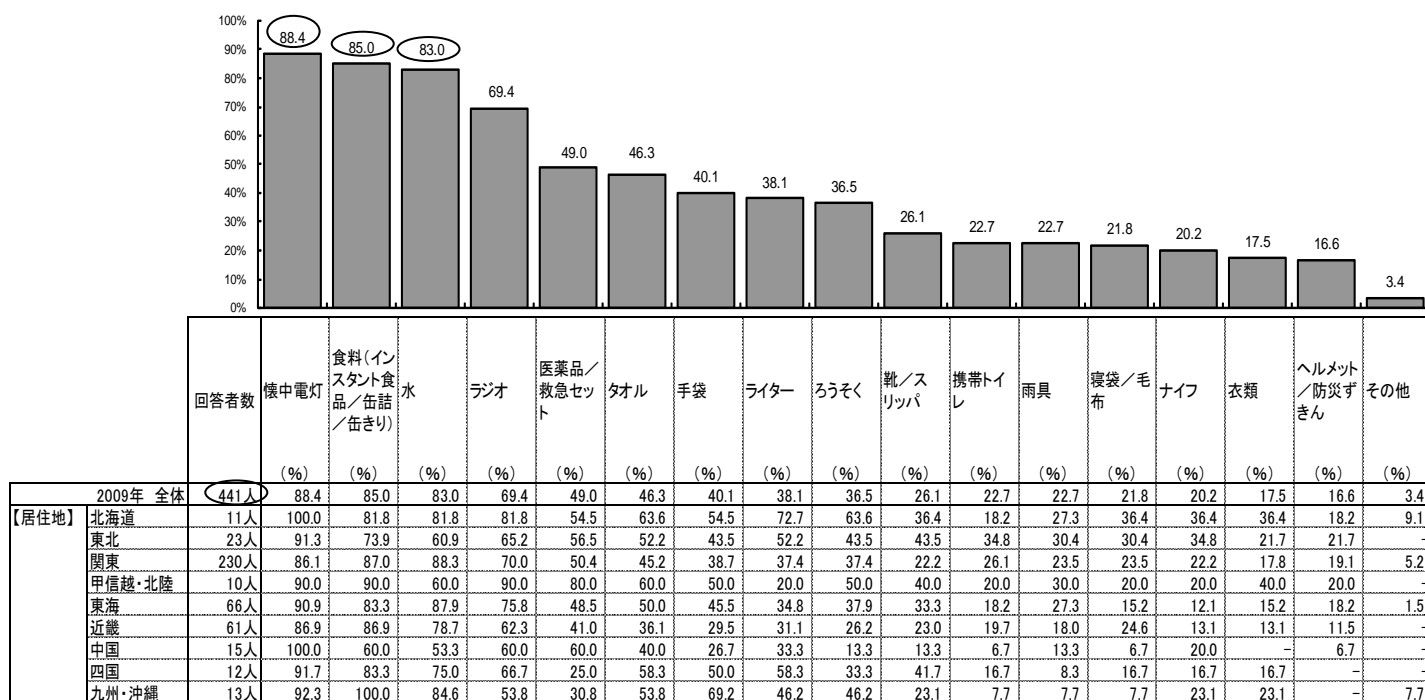
#### (3) いざというときの備え「防災グッズ」は何を準備？

**防災グッズ御三家は「懐中電灯」「食料」「水」  
しかしながら、準備しているのは「3人に1人」！**

#### <防災グッズで準備しているもの>

- ・ 防災グッズを準備していると回答した人に、具体的に何を準備しているか聞いてみました。
- ・ 第1位は「懐中電灯」、続いて「食料」「水」となっています。
- ・ とはいえ、防災グッズを用意している人は、441人（有効回答者数1,138人中）しかいません。この441人中で、「食料」を準備している人は85.0%、「水」は83.0%のため、全体のうち「食料・水を準備している人」は、「3人に1人」という結果になります。

#### Q. あなたは、実際に、どんな防災グッズを用意していますか（複数回答）



※防災グッズを用意している人ベース

### 3. 避難時の行動

#### (4) 避難所生活。耐えられるのは何日？

避難所生活は「7. 65日」が我慢の限界！  
「水・食料」は「3日分」しか準備せず！

- ・ 災害が発生し、万一、体育館や公民館等に避難した場合、その避難所で何日間耐えられるか聞いてみました。
- ・ 結果、避難所生活での我慢できる日数は、「平均7. 65日」。また、「男性」は9. 36日と「女性」の6. 11日より3. 25日長く、未既婚別では「未婚」が10. 36日と最も長く、「既婚子供なし」(6. 80日)、「既婚子供有り」(6. 25日)と続きました。
- ・ 一方、避難所での生活が、長くなればなるほど、水や食料が気になるもの。災害対策で「水・食料」の準備状況を聞いてみました。
- ・ なんと、「水・食料」を準備している人は「3人に1人」(15頁参照)という状況で、万一、避難所に行った場合、配給に頼ろうとしているのでしょうか？
- ・ また、「水・食料」を準備している人に、何日分準備しているかを聞いたところ、平均で「3日分」という回答でした。避難所生活の限度が1週間と考えているようですが、一番大切な「水・食料」は3日分の準備と、ギャップが感じられます。ここでも、ある程度は、自分で準備して、後は配給に期待しているのでしょうか？

#### Q. 避難生活を送るとしたら、何日間耐えられると思いますか。

		回答者数	0日 (%)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4~5日 (%)	6~9日 (%)	10~29日 (%)	30日以上 (%)	平均 (日)
2009年 全体		1138人	0.2	4.0	8.8	33.0	12.2	25.1	11.6	5.1	7.65
【性×年代別】	男性計	539人	0.2	3.5	8.5	30.2	10.8	25.8	13.5	7.4	9.36
	20代	129人	-	6.2	6.2	20.9	11.6	20.9	18.6	15.5	16.37
	30代	149人	0.7	3.4	6.7	26.2	8.1	33.6	15.4	6.0	8.13
	40代	130人	-	3.8	16.2	35.4	10.0	20.0	11.5	3.1	6.03
	50代	131人	-	0.8	5.3	38.9	13.7	27.5	8.4	5.3	7.18
	女性計	599人	0.2	4.3	9.0	35.6	13.5	24.5	9.8	3.0	6.11
	20代	129人	-	7.0	10.9	24.8	15.5	23.3	12.4	6.2	7.68
	30代	165人	0.6	3.6	11.5	37.0	11.5	24.8	10.3	0.6	5.17
40代	158人	-	5.1	8.2	42.4	12.0	20.9	9.5	1.9	5.73	
50代	147人	-	2.0	5.4	36.1	15.6	29.3	7.5	4.1	6.20	
【未既婚× 子供の有無】	未婚計	376人	0.3	6.1	8.8	25.0	12.2	22.3	17.0	8.2	10.36
	男性未婚者	205人	0.5	5.4	8.3	21.5	9.3	24.4	19.5	11.2	13.34
	女性未婚者	171人	-	7.0	9.4	29.2	15.8	19.9	14.0	4.7	6.80
	既婚計	762人	0.1	2.9	8.8	37.0	12.2	26.5	8.9	3.5	6.31
	既婚子供なし計	83人	1.2	1.2	10.8	31.3	10.8	32.5	8.4	3.6	6.80
	子供なし男性	45人	-	-	6.7	37.8	11.1	31.1	6.7	6.7	8.20
	子供なし女性	38人	2.6	2.6	15.8	23.7	10.5	34.2	10.5	-	5.13
	既婚子供あり計	679人	-	3.1	8.5	37.7	12.4	25.8	9.0	3.5	6.25
子供あり男性	289人	-	2.8	9.0	35.3	11.8	26.0	10.4	4.8	6.72	
子供あり女性	390人	-	3.3	8.2	39.5	12.8	25.6	7.9	2.6	5.91	

#### Q. 水・食料は何日分準備していますか？(水・食料とも準備している人)

	回答者数	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4~5日 (%)	6~7日 (%)	8日以上 (%)	平均 (日)
水準備量	325人	19.1	19.7	40.0	8.0	8.6	4.6	3.47
食料準備量	325人	19.4	21.5	41.5	5.2	8.0	4.3	3.88



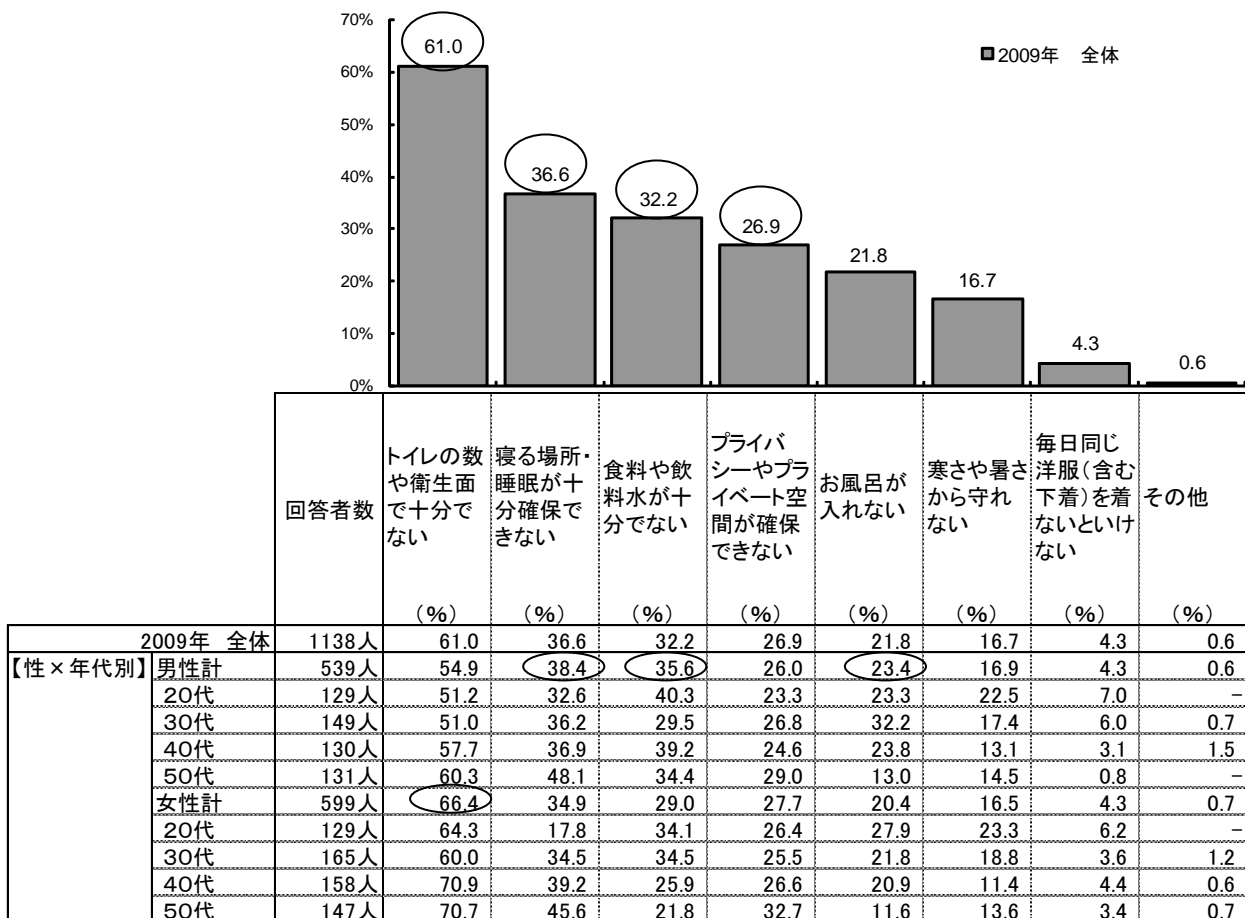
### 3. 避難時の行動

#### (5) 避難生活で我慢できないことは？

第1位は「トイレの数や衛生面で十分でない」が61.0%  
 女性は、「食料・水」より「プライバシー」

- ・ 避難生活で我慢できない第1位は、「トイレの数や衛生面で十分でない」（61.0%）で、続いて「寝る場所や睡眠が十分確保できない」（36.6%）、「食料や飲料水が十分でない」（32.2%）、「プライバシー等が確保できない」（26.9%）の回答でした。
- ・ 男性は、「お風呂が入れない」「食料や飲料水が十分でない」「寝る場所・睡眠が十分確保できない」が気になる一方、女性は、「トイレの数や衛生面で十分でない」（66.4%）と平均を5ポイント上回る結果でした。
- ・ 年齢別で見ると、女性は年齢別で特徴があり、年齢を重ねるほど「食料・水」よりも、「寝る場所」「プライバシー」への精神的な安堵感が求められるようです。

#### Q. 避難生活で我慢できないことは何ですか。（複数回答）



#### 4. 「自然災害」以外に不安なことは？

### 経済不況等による先行き不透明感？「仕事・リストラ」と「親の世話（介護）」が急浮上

- ・これまでの調査で、震災を含む災害に対しては、非常に意識が高いことがわかりました。災害については、今に始まったことではなく、「地震・雷・火事・親父」と言われているとおり、昔から怖いものとして、意識されていたことがわかります。
- ・そこで、私たちが生活している現代社会、自然災害以外にもさまざまなリスク・不安は多分にあることから、最後に、「地震・雷・火事・〇〇」の〇〇に当てはまる災害以外で現在不安に感じていることについて今年も聞いてみました。
- ・最も不安に感じることは、「老後の生活」（70.7%）、続いて、「家族の健康」（65.9%）、「自分の健康」（62.0%）となっており、いずれも昨年より上昇しています。
- ・時代背景を映しているのでしょうか。「仕事・リストラ」（40.0%）が12.1%増加し昨年9位から5位へ、「親の世話・面倒」（41.2%）が8.6%増加し、7位から4位と上昇し、それぞれ40%台へ急浮上しています。

#### Q. 「自然災害」以外に不安なものは何ですか（複数回答）

